

茨木小学校区

茨木小学校区 ワークショップ実施概要

テーマ	これからのより良い茨小校区づくりに向けて 知ろう・話し合おう		
実施内容	第1回	令和元年9月13日（金）19時-21時	24人
		・お互いのことを知ろう ・茨木小学校区の各団体については、お互い顔は知っているけど、それぞれの団体、組織がどんな活動をしているのかはよく分かっていない。	
	第2回	令和元年10月23日（水）19時-21時	26人
		・茨小校区のこれから、やりたいこと・できること	
	第3回	令和元年11月27日（水）19時-21時	22人
		・これから取組みたいことを整理、確認しよう。	
結果概要	（1）子どもも高齢者も元気な茨小校区 「子どもも高齢者も集える場所」「高齢者の居場所づくり」 （2）安心・安全（災害に強い）な茨小校区 「80歳以上の方向けの防災訓練」「高齢者と中学生の防災訓練」 「ドコモなどよく行くお店にハザードマップとか」 （3）つながりが深く、地域活動・自治組織が活発な茨小校区 「情報共有：校区新聞やHPなど茨小校区の各団体の活動を総括する地域情報誌づくり」⇒有償ボランティア （4）つながりが深く、地域活動・自治組織が活発な茨小校区 「自治会など組織の運営について、役割分担の分散化」 「自治会活動を楽しく参加できるか→公民館や自治会が協力し行事の充実を図り、みんなが集える場をめざす。」 ○各組織の協力が大切（今回のWSのつながりを継続したい） ○各団体の年間活動を共通の通信などで発信 ○空地、空き家を有効活用したまちづくり		
来年度以降に向けて	・校区の各種団体が集まり話し合いができたことで、今までわからなかったお互いの活動を知ることができた。また、校区のこれからを話し合うことができた。 ・これを契機に、自治会連合会だけではなく、校区のすべての団体が1つになって活動していくことが必要である。		

【WSの様子：写真】

第1回



第2回



第3回



第1回ワークショップのまとめ

第1回はお互いのことを知るをテーマに、

- ・ 自己紹介
- ・ 団体活動紹介
- ・ 活動から見える茨小校区の魅力や課題

を話し合いました。

+ 楽しく話し合える会議の場づくりの工夫についても



主な内容（要点抜粋）

活動していて感じる茨小校区の魅力

【人・地域のあたたかさ】

- ・ 地域のあたたかさ、愛情、優しさ、時に厳しく
- ・ なんとなく顔見知り
- ・ 駅前一等地にありながら、人の繋がりが強く、仲が良い
- ・ 穏やかな人間関係

【地域活動への意識】

- ・ ボランティア精神、地域の力が強い
- ・ 行事に役員・委員がきちんと対応してくれる
- ・ 小学校も理解してくれている

【暮らしやすい】

- ・ 駅に近く、コンビニや病院等があり、便利
- ・ 閑静な住宅街
- ・ 商店街が賑やか
- ・ 犯罪が少ない

【楽しい活動がたくさん】

- ・ いきいき元気クラブ、楽しい活動をいろいろしている（体操・手芸・ダーツ）

【まちなみ】

- ・ 新旧の建物・住居があり、歴史を感じる建築物
- ・ 歴史、文化を大事にしている



主な内容（要点抜粋）

活動してよかったと思うこと・できごと

【交流・つながり】

- ・地域の皆さんと行事を通して親睦交流ができた
- ・情報交換
- ・地域の人を知る機会ができ、地域の輪が広がりつつある
- ・声かけ挨拶、困ったら相談できる人がいるのでひと安心
- ・他地区の人たちとの話し合い
- ・公民館活動を通じて多くの人とつながりが持てた
- ・顔と名前が一致、知り合いがいると、少し安心感がある

【子どもたち】

- ・子どもの笑顔と成長
- ・子どもとつながることができている
- ・登校時の子どもたちの挨拶・返事

【防災】

- ・震災時の被災者への支援

【課題解決】

- ・地域の課題解決ができた

【学び】

- ・広報誌をつくるためにいろいろ勉強になったこと
- ・いろいろな高齢者と出会い、人生の勉強になった



主な内容（要点抜粋）

活動していて感じる茨小校区の課題

【地域活動の担い手不足】

- ・活動している人がいつも同じ顔ぶれ
- ・防災訓練時、いつも同じ人が参加、現役世代の参加が少ない
- ・後継者の育成、世代交代が停滞
- ・役を引き受ける人はいるが途切れる
- ・若い世代が忙しくて活動に参加できない
- ・自治会長の負担の多さ
- ・自治会加入率の低下

【団体間の連携不足】

- ・各団体との事業のつながりが少ない
- ・PTA、校子連のつながりが弱い
- ・年代別に分かれていて、接点が難しい

【防犯・安全】

- ・永代町交番前の信号のない横断歩道
- ・商店街で道路に張り出して出店していること（もっと品格を）

【交通不便】

- ・交通が不便、道が複雑信号のない横断歩道

【防災】

- ・地域の高齢化

【分からない・特になし】

- ・わからない、特になし



主な内容（要点抜粋）

知って欲しい活動・自慢できる・特徴的な活動

【地域行事】

- ・三行大（ふるさと祭り、体育祭、文化祭）オータムフェス
- ・地蔵盆が盛大

【子ども・子育て】

- ・登下校の見守り
- ・PTA新聞
- ・未就園児の親子の集いの居場所・子育てサロン（年10回）
- ・子どもの居場所（第2・3・4木曜日）
- ・放課後の居場所づくり、宿題や学習支援で17の講座を提供

【集える場やサークル活動】

- ・体操・手芸・おしゃべり・食事会
- ・子ども食堂（第1水曜日）
- ・老人会（いきいき元気クラブ）

【防犯】

- ・夜回り
- ・粗大ゴミ監視のぼり

【防災】

- ・防災訓練や震災時の対応（避難所運営）
- ・毎月の自主防災会の会議、防災士としてのスキルアップ



主な内容（要点抜粋）

活動の悩み

【後継者不足】

- ・後継者がいない、同じ人ばかり活動している
- ・次の会長や役職の人選

【コミュニケーション】

- ・言葉に気をつかう
- ・ご近所の名前を良く知らない

【担い手の高齢化】

- ・高齢化、体力が衰えていて活動への参加が難しくなった
- ・高齢者が増え、きめ細かい見守り活動が難しくなった

【その他】

- ・現在のところなし
- ・団体の横のつながりは徐々に改善、今一歩

【参加や担い手が広がらない】

- ・共働き世帯が増え、地域の役を引き受けてもらえない
- ・自治会員数はいても、同じ人ばかりに負担がいく
- ・自治会活動への無関心（特に単身向け賃貸マンション）
- ・活動を案内しても利用者が増えない
- ・中年の人たちの住民意識を高める必要がある

【活動が大変】

- ・PTA活動の重労働
- ・若い人が多くなっているので、仕事をできるだけ少なく



主な内容（要点抜粋）

他団体や住民と一緒に取り組みたいこと 連携したいこと・助けてほしいこと

【連携できている・助けられている】

- ・現在でも助けてもらっている

【連合会の活動への参加】

- ・PTAの連合会への参加

【交流・議論・相互理解の場】

- ・若い世代と議論する場
- ・他の自治会との交流会をしたい、どんな活動・仕事をしているのか知りたい
- ・自治会の状況を理解して欲しい

【アドバイス・サポート】

- ・接点を増やせるようなアドバイス
- ・後継者づくりアドバイス

【自治会加入の魅力PR】

【防災・防犯】

- ・防災訓練への参加、防犯活動への参加
- ・安否確認や避難所運営マニュアルづくり



第2回ワークショップのまとめ

第2回は茨小校区の「これから」と
「できること」をテーマに、

- ・ 簡単な自己紹介とアイスブレイク
- ・ 今と未来の良いこと・悪いことについて
- ・ 茨小校区のこれからのありたい姿に向けてできること・アイデア

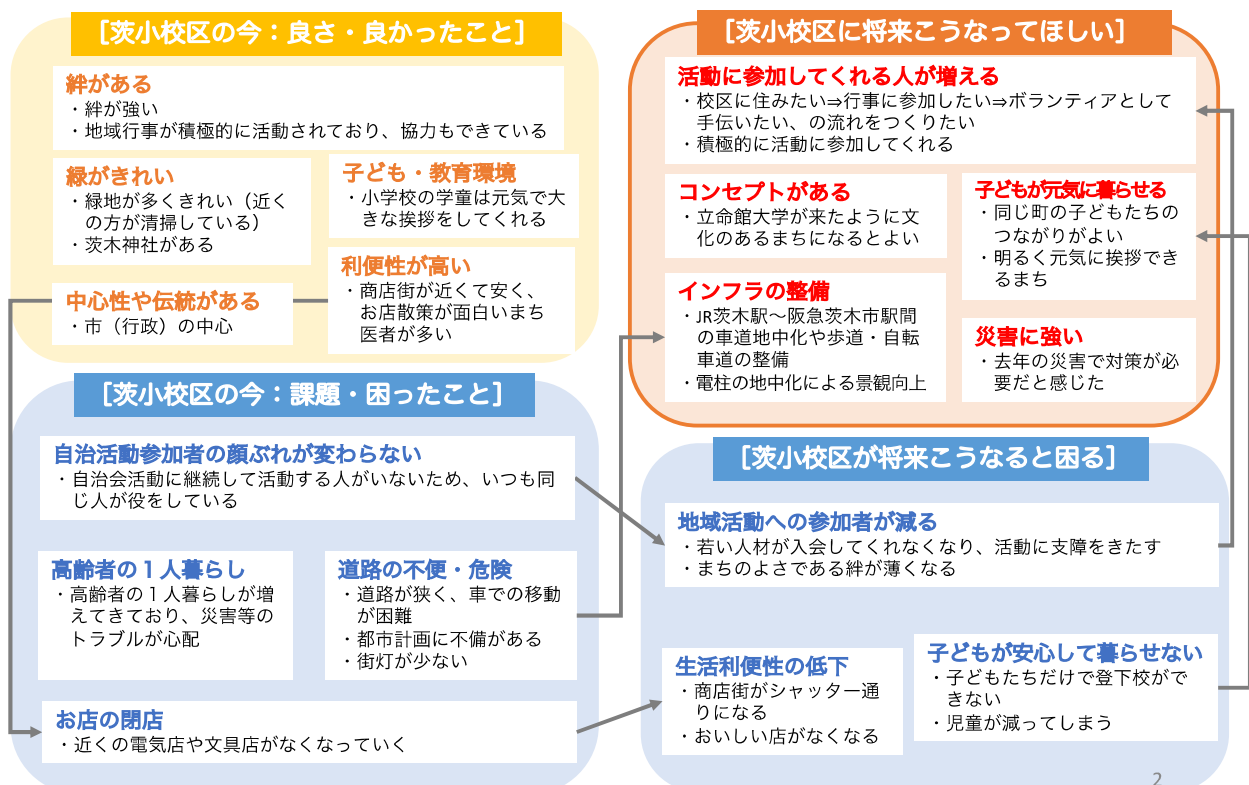
を話し合いました。

+ みんなが意見や考えを話しやすい会議づくりの工夫についても



1 班（食欲の秋グループ）

茨小校区の将来のありたい姿



茨小校区の将来のありたい姿に向けたアイデア

【地域活動の継続・絆づくり】に向けて

- 会長を輪番制にすることで、参加意識を高めることが出来るのではないかな。
⇒組の中での支援や、前会長も役員として残るなど、会長を支える体制ができている。
- 新たに活動に参加する方に自由に取り組めるようにする、新しい発想を止めない。

【災害に強いまち】に向けて

- 避難訓練が年々レベルアップしている。専門家とも連携している。
- 組織同士の協力が大切。

【まちのコンセプトづくり】に向けて

- 住みたいまちランキング上位をめざす。
- SDG s に取り組む。

3

茨小校区の将来のありたい姿

【茨小校区の今：良さ・良かったこと】

地域の繋がりがあ

- ・穏やか、買い物中も会話が
- ・自治会、こども会が活
- ・公民館の三行大事（地域の祭、体育祭、文化祭）でコミュニティができて
- ・事業への協力者が多い

生活しやすい環境がある

- ・交通事故も少ない
- ・静かで環境が良い
- ・中心にあるため便利
- ・住み良い地域だと思う

【茨小校区に将来こうなってほしい】

もっと地域の繋がりが深いまちへ

- ・各種行事に参加する人、自治会への加入者が増えれば
- ・住み心地を良くして、次の世代が転入してくれるまちへ
→コミュニティハウスの活用、楽しい居場所があれば！
→1人でも来やすいところが必要
→建物とその世話人が必要
- ・他市に比べると満足度は高いかもしれない

商店街がにぎやかになってほしい

- ・活気ある魅力ある商店街に！
- ・商業地だからこそおしゃれな生活を楽しみたい（昼、夕食）
→お客さんが安全・安心して買い物できる環境が必要
→茨木市の中心として活性化が必要

【茨小校区の今：課題・困ったこと】

危険を感じる歩行環境

- ・スマホしながらの自転車の運転
- ・歩道がせまい

ごみ捨てのルールが守られていない

- ・時間外のごみ捨てでカラスが群がっている

地域の繋がりの持続性が低下している

- ・人と建物の入れ替えが多く、コミュニティに持続性がない
- ・名前（表札）が分からない
- ・幼稚園、小学校の子供が卒業すれば参加することが減少する、現状、青年団の組織がない

【茨小校区が将来こうなると困る】

自治会の役割・機能が低下すること

- ・自治会への参加が減少、公民館の行事の参加者が減少し、できなくなる
- ・自治会の加入が下がること
- ・子ども会が無くなる

商店街がさらに寂れること

- ・自転車の無秩序な駐輪により、歩きにくい商店街になる
- ・閉店が相次ぎ活気がなくなる

地域のつながりが弱くなる

- ・自己中心的な考えが進む

4

茨小校区の将来のありたい姿に向けたアイデア

[もっと地域の繋がりが深いまちへ]

- 自治会に義務的に入会してもらう
 - ・自治会の良さは入ってから徐々に感じてもらう。
 - ・地震などピンチを上手に使う、自治会の意義や良さをアピールする。
 - ・ワンルームをたてたオーナーが責任をもって自治会加入をすすめる。

[商店街がにぎやかになってほしい]

- 商店街で今回のようなWSを開催する
 - ・まずは現状認識の共有から始め、市・地域・商店街とのつながりを徐々に深めていく。
 - ・市は広い視点を持ち、個人商店をどう守っていくのか考えていく必要があるのでは。
- 安全安心な歩行環境をつくる
 - ・駐輪場をつくる必要があるのでは。

5

茨小校区の将来のありたい姿

[茨小校区の今：良さ・良かったこと]

住みやすさ

- ・川があるから涼しい気もする
- ・小学校や商店街や駅も近く、生活がしやすい
- ・夜も安全
- ・道が整備されている
- ・新規参入者からしても生活しやすいと評判

いい人間関係

- ・挨拶運動が毎日されている
- ・隣近所を知っている空気感

[茨小校区に将来こうなってほしい]

地域活動の活性化

- ・多くの人が地域活動に参加するようになってほしい
- 直接会って説得が必要

子どもが暮らしやすい茨小校区へ

- ・一つの中学に集中させてあげたい→小中一貫校

役員の負担軽減

- ・自治会の規約や役割の整理
- 自治会の垣根を飛び越えた意見交換
- 自治会を小さくするor統合（組織規模や活動）
- インセンティブを用意する

[茨小校区の今：課題・困ったこと]

ゴミ問題

- ・ゴミ当番が若い世代の負担になっている
- ・カラスがゴミに群がる

交通問題

- ・中心街は道路が狭い
- ・古い町並みなので、区画整理の問題

コミュニケーション

- ・挨拶しない子がいる

[茨小校区が将来こうなると困る]

高齢者問題

- ・高齢者の居場所がなくなる
- ・老人会がない自治会は、つながりがなくなる

空き家や空地の増加

若者の参画不足

- ・若い世代が入ってこなくなる
- ・若い世代が自治会に入らない

自治会の解散

- ・自治会離れによって町の情報が流れない

6

茨小校区の将来のありたい姿に向けたアイデア

【子どもが暮らしやすい茨小校区へ】

- 子どもたちが中学進学を理由に疎遠にならないように
 - ・小中一貫校は制度的に難しいが、視野に入れてもらいたい。
 - ・子どもたちが繋がる、何か工夫が必要。

【地域活動の活性化】

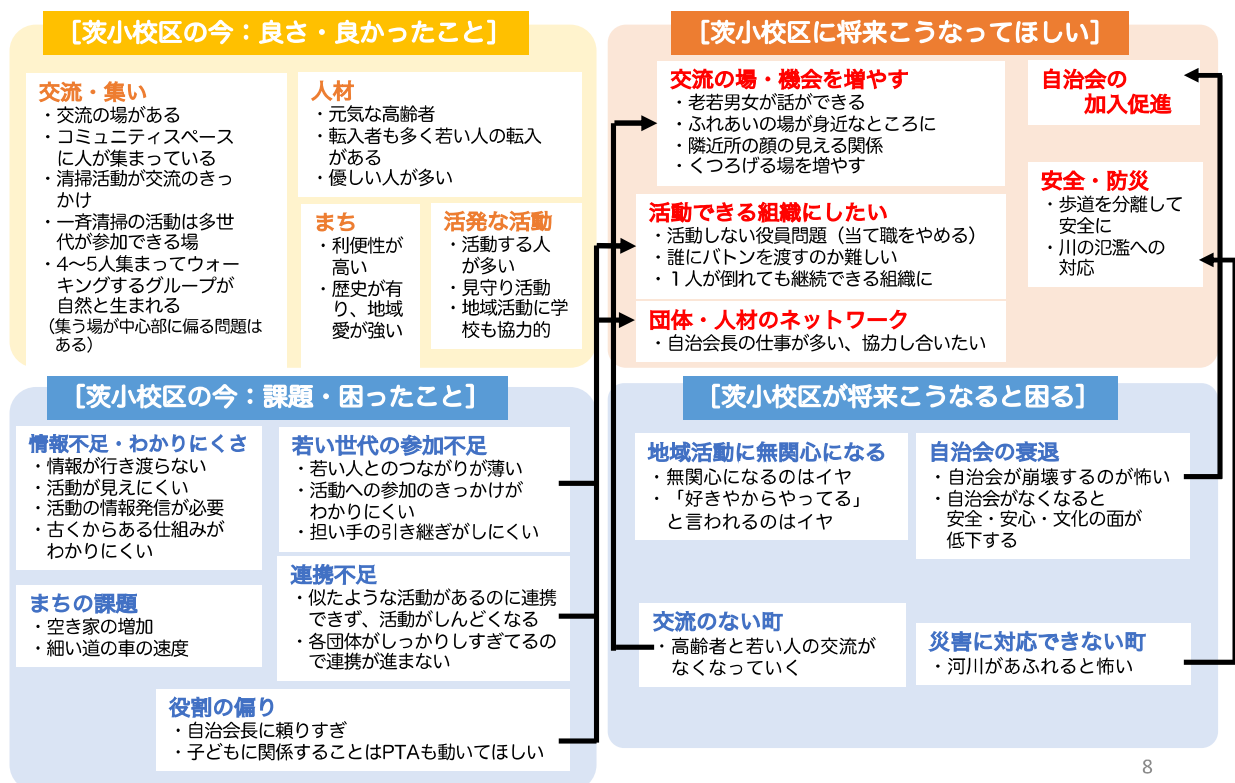
- 空地・空き家を有効活用したまちづくりが必要。
 - ・高齢者の居場所や若い世代の集いの場として活用してみてもどうか。
- 区画整理の見直し
 - ・道路の見通しが悪い箇所など、区画整理のレベルから見直せないか。

【地域の役員の担い手発掘へ】

- もっと気軽に地域（自治会）の役員を担える仕組みへ
 - ・自治会の規約や役割など、一度整理してみると良い。
 - その整理を自治会の垣根を飛び越えて交流しながら見出してみてもどうか。
 - ・自治会の組織体を小さくしたり、統合したりしてみてもどうか。
- 自治会の役員参加のメリットを作る
 - ・人は何かインセンティブがないと動かない。
 - 税金の免除や補助などのインセンティブが必要ではないか。

7

茨小校区の将来のありたい姿



8

4 班（芸術の秋グループ）

茨小校区の将来のありたい姿に向けたアイデア

[地域活動に参加しやすい茨小校区へ]

- ・楽しみながら一人一役できるような仕組み。
- ・PTA経験者は頼めば動いてくれる人、子どもが中学を卒業するとつながりがなくなるので、高校・大学の間のつなぎを考える。
- ・PTAのOBが集まれる場をつくろう。
- ・気安く一緒に参加できる活動を増やすことが必要（風揚げなど）。

[地域活動の見える化]

- ・各種団体の年間活動を共通の「通信」などで発信。
- ・情報整理をすることを通じて、団体間の交流も進むことが期待できる。

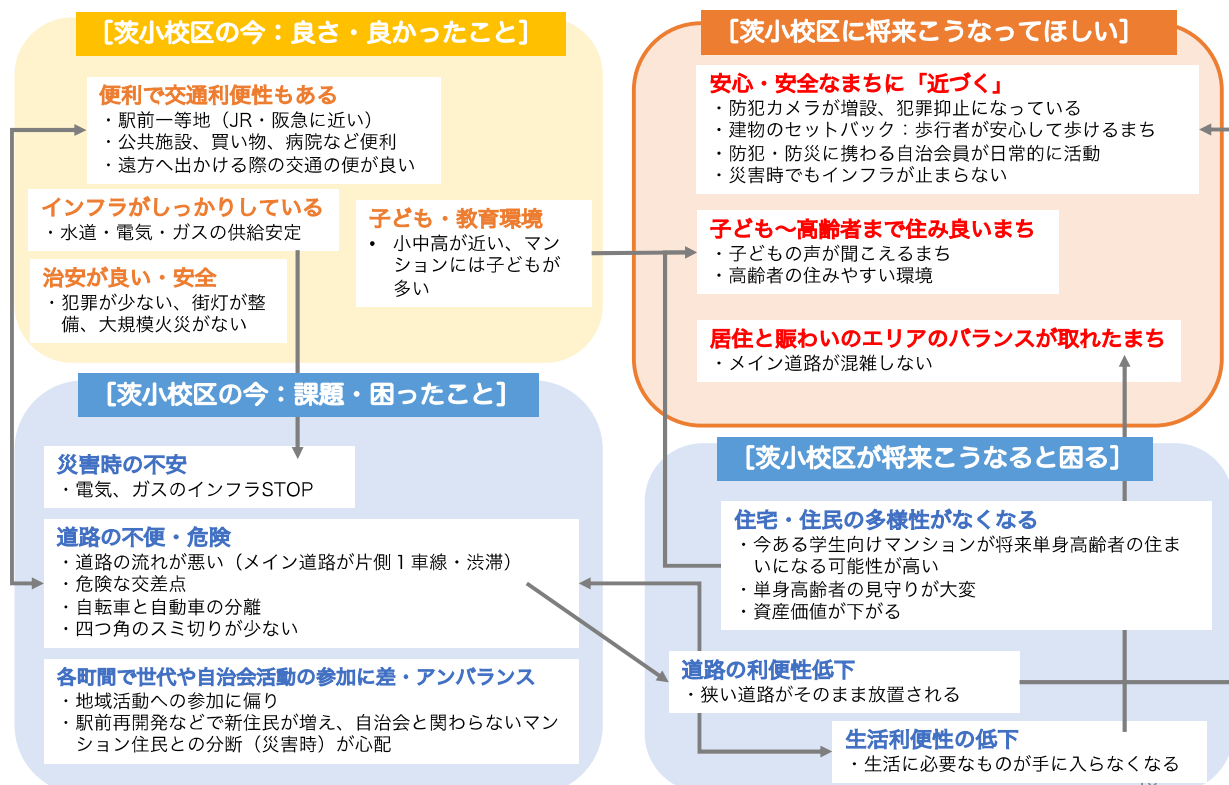
[まずは共有からはじめる（やれることからこつこつと）]

- ・一緒に活動するとしても流儀が違う。
- ・まずは情報共有からはじめる。
- ・災害の時は共有できる。

9

5 班（私なりの秋グループ）

茨小校区の将来のありたい姿



茨小校区の将来のありたい姿に向けたアイデア

【居住と賑わいエリアのバランスが取れたまち】に向けて

人口減少の中でも・・・

- 今の治安を維持する
- 子育て環境を維持する
- 他地域の人を受け入れる風土を維持する

【安心・安全なまちに「近づく」】に向けて

- お互いの顔が見える関係づくりを進める
 - ・表札がない家が増えている→関係づくりにつながらないのでは。
- 防犯活動の継続
 - ・防犯制度と巡視員制度を統合し、大きくできないか。
→1つのまちぐるみの組織づくりをする（縦割りはダメ）
- 交通安全講習
 - ・「ながらスマホ」の撲滅に向けた中高生向け解説。
 - ・毎年変わる自治会役員向けに「交通ルールの説明会」「オレオレ詐欺実例の講習会」を実施する

第3回ワークショップのまとめ

第3回はこれまで話し合ったことをもとに、
茨小校区で「これから取り組みたいこと」
を整理しました。

- ・ 簡単な自己紹介とカードを使ったアイスブレイク
- ・ テーマ別で取り組みアイデアを話し合い・・・
- ・ アイデアの中から取り組めるものや優先順位を
を話し合いました。

WS全3回のまとめとして、校区の各種団体が集まり、引き続き話し合う場やWSで出されたアイデアを具体化していく必要性、市からの支援制度について確認しました。



1 班（子どもも高齢者も元気な茨小校区）

テーマ	課題・問題意識	取り組みアイデア (取り組んでいること)
子どもの活動の充実	子どものための活動は充実している。ただし、町によっては子ども数が減り、取組に課題があるところも見られる。	・ 町会の会費をこども会に使えるようにしている。
子どもの見守り	昨年の地震が発生した際に、通学中の子どもたちがとても怖がっていたことなど見守りは必要。	・ 以前より取り組んでいた見守り活動に協力してくれる方ができた。
子どもの居場所づくり	子ども食堂を実施しており、周知もしているが参加者が増えない。 ＝潜在的に困っている子どもが見つけれられていない。	・ カフェの定休日を借りて子ども食堂を実施している。
子どもの遊び場づくり	子どもたちの遊び場が少ない。	・ 朝、校庭を開放する。
高齢者の居場所づくり	買い物に行き帰るまでに休憩する場所がない。	・ お茶を飲めたり、休憩できる居場所をつくりたい。 ・ 自宅の1室を地域の人が寄ってこられる場所として貸している方がいる。
高齢者情報の把握	個人情報保護の関係で、高齢者の情報は民生委員から自治会長に伝えることができない。	
地域活動への参加	(子どもに) 地域の取組に参加してもらいたい。	・ 子どもが興味を持てるコンテンツを盛り込む(警察犬やサッカー選手など)。 ・ 声掛けする人をつくる(自治会長に参加者確保のノルマをつくるなど)。

これから取り組みたいこと（取り組めそうなもの・すぐに取り組むべきもの）

- ・ 高齢者の居場所づくりに向けて、遊休施設を活用できるとよい。市と話し合いができないか。

2班（安心・安全な茨小校区：災害に強い）

テーマ	課題・問題意識	取り組みアイデア
河川	堤防が傷んだり、泥が溜まっていたりしており不安がある。	・ 堤防の整備を提案する。
避難場所	避難場所について、そもそも情報が知られていない。どういときに、どのように避難場所を使うことができるのか、まず情報を知る取り組みが必要。	・ 避難場所についてのPRを行う。 ・ 情報に触れやすいように校区内のお店にハザードマップを置いてもらう。 ・ 市役所から情報を入れてもらう。
個人情報（安否確認）	イザというときに安否確認をするための情報も仕組みもない。	
火災の予防	消火器の使い方を知らない人が多い（特に高齢者など、普段訓練に参加していない人）。子どもを災害時に守るべきだが、中学生は災害時の避難所運営などの担い手にもなりえる。	・ 普段、消火器の使用訓練をしていない人こそ、訓練に参加してもらうべき。 ・ 高齢者と中学生が参加する防災訓練を実施する。
防災面から考えた道路	消防車等が入れない道路がある。道路を作るのは難しいのでポイントを絞った整備を考える必要がある。災害から復興する際に整備ができる可能性がある。	・ 道路を整備するための基本的な構想をつくる。
交通マナー	車のスピードが出すぎていて危険がある。舗装の色だけで区分している自転車道は逆に危ない。	・ ハンプ（減速を促すための道路の構造物）の設置を提案する。 ・ 自転車道をつくることを提案する。

これから取り組みたいこと（取り組みそうなもの・すぐに取り組むべきもの）

- ・ 避難場所についての情報を得るために、市役所から担当者に来てもらい、勉強会を実施、また、校区内のお店にハザードマップの設置を働きかける。
- ・ いつもやっている防災訓練を工夫して、普段は参加していない人にも消火器訓練などを行ってもらうプログラムを考える。（高齢者と中学生のための防災訓練など）

3班（つながりが深く、地域活動・自治組織が活発な茨小校区）

テーマ	課題・問題意識	取り組みアイデア
自治会の仕組みの再考	一度引き受けると、数年役を務めざるを得ず大きな負担となっている。このような状況も相まって後継者がなかなか見つからない。	・ 任期制・輪番制を導入し、任期後は顧問として後任のサポートに回る体制にする（輪番制には反対の意見もあり）。 ・ ブロック制を導入し、地域で役割を回していく。
地域内団体間での情報共有	地域活動が活発だとは思うが、他の団体が何をしているのかよくわかっていない。	・ 校区新聞やHPなどを作成する。 ・ 地域の団体役員同士の交流会を企画する（困りごとなどを相談できる場、会議形式ではなく茶話会のような形式）。 ・ 校区の各団体を総括する部門（事務局）をつくる。 ・ 自治会規約を各町で精査し共有する。 ・ 地域の人材育成（アイデア例：「自治会士」）。
地域活動への関心向上	自治会加入率は下がっており、特に若い人の参加率が低くなっている。	・ イベントや行事を通じた勧誘を積極的に行う。 ・ 校区の中での若手グループをつくり、若い人が入りやすい環境をつくる。 ・ 地域活動への参加は1年に2～3回だけで良いなど、予め回数を決めておくことで、参加のハードルを下げる。

これから取り組みたいこと（取り組みそうなもの・すぐに取り組むべきもの）

- ・ 各団体の行事内容やその目的・目標を共有する機会を設ける（まずは年2回）。
- ・ 自主防災訓練において自治会未加入の人に参加を呼び掛ける。そのうえで、まずは自主防災訓練に参加してもらえるよう、内容の充実及びボランティアスタッフとしての参加要請を検討する。
- ・ 若い人の自治会参加を促すために、こども会に積極的に声をかける。

4班（つながりが深く、地域活動・自治組織が活発な茨小校区）

テーマ	課題・問題意識	取り組みアイデア
交流の場づくり	自治会の中でも、もっと交流の場が欲しい。 （高齢者と子ども達が一緒にできること）	・ 行事を簡単な準備でできるものにする。 （自治会のクリスマス会やビンゴ大会など） ・ 公民館と自治会が協力し合う。
子どもを通した つながりづくり	市立でなく私立の幼・小・中・高へ行った子どもは地域のつながりが薄くなりがち。	・ 町単位で気軽に出来るイベントがあれば良い。 ・ 公民館の行事に自治会から多く参加してもらい集まって懇親。
	子どもたちが参加できる行事が必要。	・ 年ごとの同窓会を作ってみる。 （卒業年度に応じて特別チケットを配れば、みんなが集まりやすくなるのではないかな） ・ eスポーツを子ども達とやってみる。 ・ ふるさと祭の活用。
新しい住民との つながりづくり	全く知らない人が増えてきた。どうしたら顔見知りになれるか。	・ 老人会と若い方の会をつくる。 ・ ニューススポーツの大会をやってみる（地域対抗）。
自治会加入率	自治会加入率の低迷。	・ 役割分担の分散化を図る方策を検討する。 ・ 自治会長の輪番制を導入する。 ・ 自治会・こども会加入条件を緩和する。
行政に期待すること		・ 茨木市内一律の自治会費に一律加入を義務付ける。 ・ 自治会活動に対する行政のバックアップを強化する。 ・ 各自治会の加入世帯数のばらつきが大きいので、行政指導のもと住居区画の変更をする。

これから取り組みたいこと（取り組みそうなもの・すぐに取り組むべきもの）

- ・ ニューススポーツの大会をやってみる（地域対抗）。
- ・ 自治会・こども会加入条件を緩和する。
- ・ eスポーツを子ども達とやってみる。
- ・ ふるさと祭りを活用し、つながりを深める。
- ・ 行事を簡単な準備でできるものにする。
（自治会のクリスマス会やビンゴ大会など）

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

全3回ワークショップをふまえた 今後について

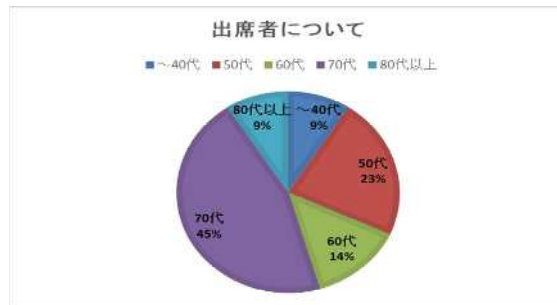
- ・ 校区の各種団体が集まり、話し合いをできたことで、今までわからなかったお互いの活動を知ることができた、校区のこれからを話し合うことができた。
- ・ これを契機に、自治会連合会だけではなく、校区のすべての団体が1つになって活動していくことが必要。

ワークショップで出された校区の今後のありたい姿・課題や活動アイデアを形にしていくため、今回のワークショップのつながりを継続し、市の支援も受けながら、各団体の年間活動を共有する通信を発信するなど、引き続き前向きな話し合いを続けていく。

地域活動の活性化に向けたワークショップ アンケート集計(茨木)

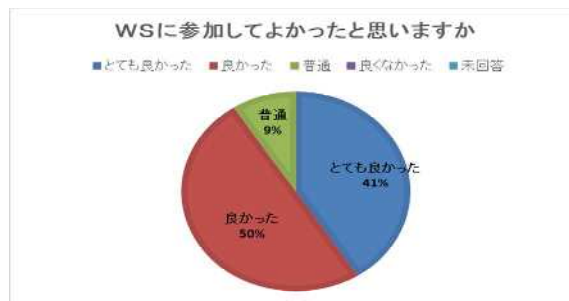
問1 出席者について

問1	回答数
～40代	2
50代	5
60代	3
70代	10
80代以上	2



問2 ワークショップに参加して良かったと思いますか。

問2	回答数
とても良かった	9
良かった	11
普通	2
良くなかった	0
未回答	0

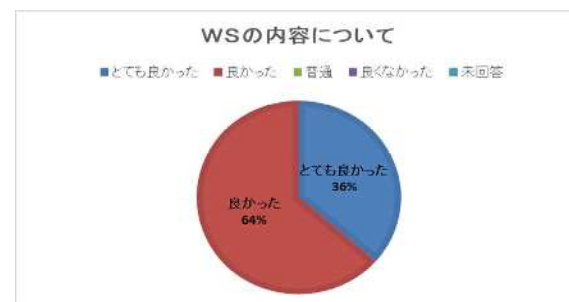


【理由】

- ①茨小校区の皆さんの意見が良くわかりました。
- ②色々な意見が聞けたこと
- ③それぞれの立場で問題点を話し合った事が特に良かった。
- ④いろんな意見がきけたこと
- ⑤皆さんと仲良くなれた！
- ⑥様々な立場の方の意見や想いがきけたこと。次につながる予感！！
- ⑦これまでは自治会内の共有のみであったが、初めて茨小校区内の皆様と課題共有ができたので。
- ⑧他の地域の活動内容が良くわかった。
- ⑨他の自治会役員サンと話ができて良かった。
- ⑩知りあいの幅が広がりました。
- ⑪いろいろな意見やアイデアを聞くことが出来た。
- ⑫情報交換ができた。
- ⑬自分では分からなかった事が分かった。
- ⑭他自治会の方々の意見、思い、などや、そこでの問題点などを聞くことができた。
- ⑮ひとつの改善手法として、自治会内の問題に取り組んでいきたい。
- ⑯いろんな組織の方々とおはなしすることができたので。

問3 ワークショップの内容について

問3	回答数
とても良かった	8
良かった	14
普通	0
良くなかった	0
未回答	0

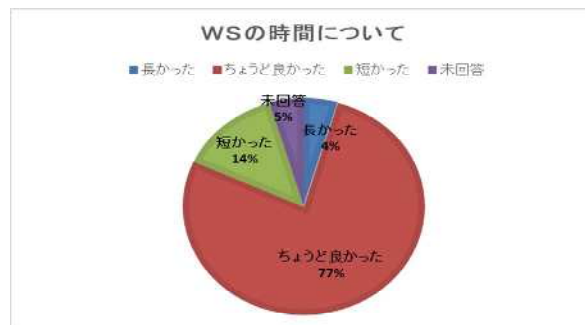


【理由】

- ①スタッフの皆さんが良くリードしてくださり、進行が速やかだった。
- ②地域が一体になったように思う。
- ③身近なことが、
- ④今後、多少役に立つ内容ではあった。
- ⑤ゆっくりお互いを知りあうことに時間を使えた。
- ⑥毎回アイスブレイクを実施していただき、話しやすい雰囲気を作っていただいた。
- ⑦途中から(3回目)の参加だったが、わかりやすかった。
- ⑧無理に結論を出さない進め方がよい。
- ⑨重要な課題であり、ざっくばらんに話し合いができた。
- ⑩自分達の住む所について、よりよくしようと取り組むきっかけ(発想)を掴むことができた。
- ⑪もう少し深めたかった。

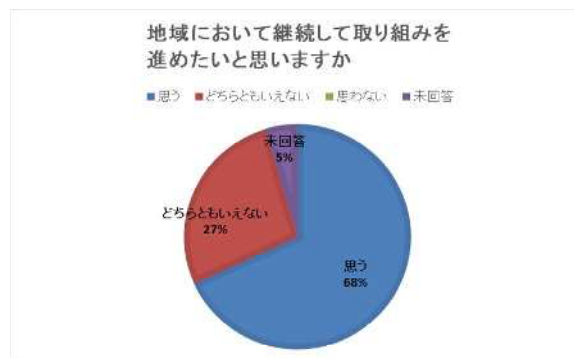
問4 ワークショップの時間について

問4	回答数
長 かった	1
ちょうど良かった	17
短 かった	3
未 回 答	1



問5 今回のワークショップの経験を生かして、地域において継続して取組を進めたいと思いますか。

問5	回答数
思 う	15
どちらともいえない	6
思 わ な い	0
未 回 答	1



問6 今回のワークショップ以外に取り上げたいテーマがあればお聞かせください。

- ①「茨木市に望むこと」をテーマに各校区で開催すれば、市民の生の声を拾えると思う。
- ②道路幅拡張、一方通行の継続など住民の意見を直接聞く場の設定
- ③子供達への教育、倫理について
- ④今後確実に発生するであろう地震、水害に対応した話題
- ⑤理論、口上より実行を。

問7 ワークショップの感想などをお聞かせください。

- ①皆さんの気持ちがさめないうちに地域協議会を進めていかれてはどうかと思います。
- ②難しい問題ですが、努力するしかないのかな。
- ③地域活動で思っている事が言えた。
- ④男性の参加者が多いため、夜の7～9時のワークショップは少しこたえる。
- ⑤新しい考え方を習得出来た。

- ⑥貴重な機会ときっかけをありがとうございます。今回のワークショップで出た意見が各団体の長など意思決定ができる立場の方に前向きにとらえていただけるといいなと思いました。
- ⑦茨小校区内の絆を強める大変素晴らしい取り組みだったと思います。全3回にわたってご準備いただきました茨木市職員の皆様、本当にありがとうございました。
- ⑧話すきっかけになって良かった。
- ⑨講義を聞くだけではねむくなります。適当に発言の機会があって楽しいです。
- ⑩参加して良かったです。有難うございました。
- ⑪意見交換が出来てよかった。
- ⑫いつも考えていることを話し合いできたことは、良い機会であった。参加してよかった。
- ⑬自治会の問題等も少しでも分って良かった。
- ⑭皆さんとお話しできて大変有益でした。同じ様ななやみもあり、全く別な想いもある。人それぞれだが、目的(目標)が共有できれば同様の方向性が生まれ進んでいけるものだと感じた。良いワークショップだったと思いました。
- ⑮ひとつの改善手法として、自治会内の問題に取り組んでいきたい。
- ⑯色々と聞かせていただきましたが、なかなか実行出来るかどうか。
- ⑰まだおはなしできていない人もいたので残念でした。全体ミーティングなどもあったらうれしかったです。
- ⑱地域(校区)の人とのつながりができた。
- ⑲討論の結果が出れば良いですね。

参考資料

ワークショップ当日資料等

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

これからのより良い茨小校区づくりに向けて

知ろう・話し合おう

第1回

2019年9月13日（金）19:00-21:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

お席のご案内

開会時の
お席は自由
です

途中から5つの班に分かれて話し合います。



ワークショップ開催の目的

地域コミュニティの現状

【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（約60%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感



【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

「安全・安心で住みよいまちづくり」

への影響が懸念される。

そこで！！



■ワークショップ対象及び目標

○地域自治組織結成校区

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。

目標「人材の育成、地域活動の活性化」

○地域自治組織未結成校区

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「地域自治組織づくり」として実施。

目標「担い手の充実、活動への参画」



○地域自治組織づくり

各地域組織が、各々、単独で活動

⇒ 地域力が有効に機能している？

これを避けるためには

⇒ 地域に関わる団体の調整機能が必要

【期待される効果】

幅広い活動内容の充実や多様な担い手の確保

「地域の結束力が高まる」

組織間の連携・協働を促す機能を担う統括的組織

「地域自治組織」づくりを推進！！

ワークショップ 全3回の流れ

第1回	お互いのことを知ろう	9/13（金）
第2回	茨小校区のこれから、やりたいこと・できることを話し合おう	10月
第3回	これから取り組みたいことを整理、確認しよう	11月



本日の目的

お互いのことを知ろう！

- 19:00- 趣旨説明など
- 19:10- 参加者全員（アイスブレイク）
- 19:30- グループに分かれて（自己紹介）
- 20:00- そのままグループで（活動紹介）
- 20:40- 全体で話したこと・感想を共有
- 20:55- まとめ



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



全体でアイスブレイク

全員で1列に並ぼう！

後ろのスペースみなさん移動してください。

「誕生日」の順に

全員が1列で並んでみてください。



全体でアイスブレイク

今日はどんな人が
参加しているのでしょうか？

- ①いくつか質問をしていきます
- ②思った答えの色の画用紙を挙げてください
- ③周りも見渡してみてください。



地域での活動歴は？

20年以上

10年以上20年未満

5年以上10年未満

1年～数年



茨小校区のおすすめ・自慢は？

茨木小学校

茨木神社

元茨木川緑地

その他



地域での活動は？

楽しい

しんどい

楽しいし・しんどい

どれもでない



地域で活動していてよかったことは？

知り合い・つながり

感謝・ありがとう

まちがよくなった

特にない・・・



地域で活動しているの今の悩みは？

後継者

時間がない

新しいことができない

その他



グループに分かれて話そう

自己紹介

①所属団体等

②名前

③

次なる
茨木へ。
茨木には、茨がある。

活動紹介

これ知って！

知ってほしい活動
自慢できる・特徴的な活動

良かったなあ！

活動していてよかったと
思うこと・できごと

茨小校区の
良いところ！

活動していて感じる
茨小校区の魅力

活動の悩み

これが悩み！

他の団体や住民と
一緒に取り組みたいこと
連携したいこと
助けてほしいこと

活動していて感じる
茨小校区の課題

茨小校区の課題

る
へ。
茨がある。

みんなで地域づくりをやっていくための 話し合い・対話の場の工夫

会議に参加する人の気分などはその時・それぞれ
初めて出会う人同士ならどうしても緊張する

①アイスブレイク（場を和ませる・柔らかくする）

- ・知っている仲でも自己紹介
- ・身体を動かしてみる
- ・どんな人がいるか知る機会をつくる

会議では聞くばかり（言いたいことあっても）
決まった人しか話せない・・・

②意見や考えを言いやすい場づくり

- ・全体で話し合わずに少人数で一度話してみる
- ・お茶やお菓子を置いてみる
- ・1人ひとりが考えを書いてみる
- ・会議の机のレイアウト・並びを変えてみる
- ・資料説明する人と会議を進行する人を分けてみる

次回（第2回）予定

今日話し合った
それぞれの活動・地域の魅力・課題をもとに・・・
茨小校区のこれから、
やりたいこと・できることを話し合おう

2019年10月29日（火）
19時 ～ 21時

所属・役職など

名 前

茨小校区 活動紹介シート

団体名： _____ 名前： _____

これ知って！

知ってほしい活動
自慢できる・特徴的な活動

良ければなあ！

活動していてよかったと
思うこと・できごと

茨小校区の
良いところ！

活動していて感じる
茨小校区の魅力

これが悩み！

活動の悩み

他の団体や住民と
一緒に取り組みたいこと
連携したいこと
助けてほしいこと

茨小校区の課題

活動していて感じる
茨小校区の課題

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

これからのより良い茨小校区づくりに向けて

知ろう・話し合おう

第2回

2019年10月23日（水）19:00-21:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

お席のご案内

開会時の
お席は自由
です

途中から5つの班に分かれて話し合います。



ワークショップ開催の目的

地域コミュニティの現状

【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（約60%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感



【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

「安全・安心で住みよいまちづくり」

への影響が懸念される。

そこで！！



■ワークショップ対象及び目標

○地域自治組織結成校区

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。

目標「人材の育成、地域活動の活性化」

○地域自治組織未結成校区

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「地域自治組織づくり」として実施。

目標「担い手の充実、活動への参画」



○地域自治組織づくり

各地域組織が、各々、単独で活動

⇒ 地域力が有効に機能している？

これを避けるためには

⇒ 地域に関わる団体の調整機能が必要

【期待される効果】

幅広い活動内容の充実や多様な担い手の確保

「地域の結束力が高まる」

組織間の連携・協働を促す機能を担う統括的組織

「地域自治組織」づくりを推進！！

ワークショップ 全3回の流れ

第1回	お互いのことを知ろう	9/13 (金)
第2回	茨小校区のこれから、やりたいこと・できることを話し合おう	今回 10/23 (水)
第3回	これから取り組みたいことを整理、確認しよう	11月



本日の目的

前回話し合ったことや
アンケート内容、地域
データもふまえて

茨小校区のこれから、
やりたいこと・できること
を話し合おう

- 19:00- 趣旨説明など
- 19:10- グループ分け・自己紹介
- 19:25- [グループワーク] 茨小校区のこれから
- 20:15- [グループワーク] 活動・取組アイデア出し]
- 20:45- 全体で話したこと・感想を共有
- 21:00- 閉会



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



グループ分け

ミニゲーム：5つのこたえ

1つ、質問をします。

理由も考えながら、「私はこれ！」
という答えの番号のグループに
移動してください。

周りの人数もみながら、別の答えに変えようかな・・・
もOK！



秋といえば！？

①食欲・味覚の秋

②スポーツ・運動の秋

③読書の秋

④アート・芸術の秋

⑤私なりの秋（その他）



グループに分かれて話そう

自己紹介

①所属団体・名前

②答えを選んだ理由・エピソード

③「実は・・・私・・・」



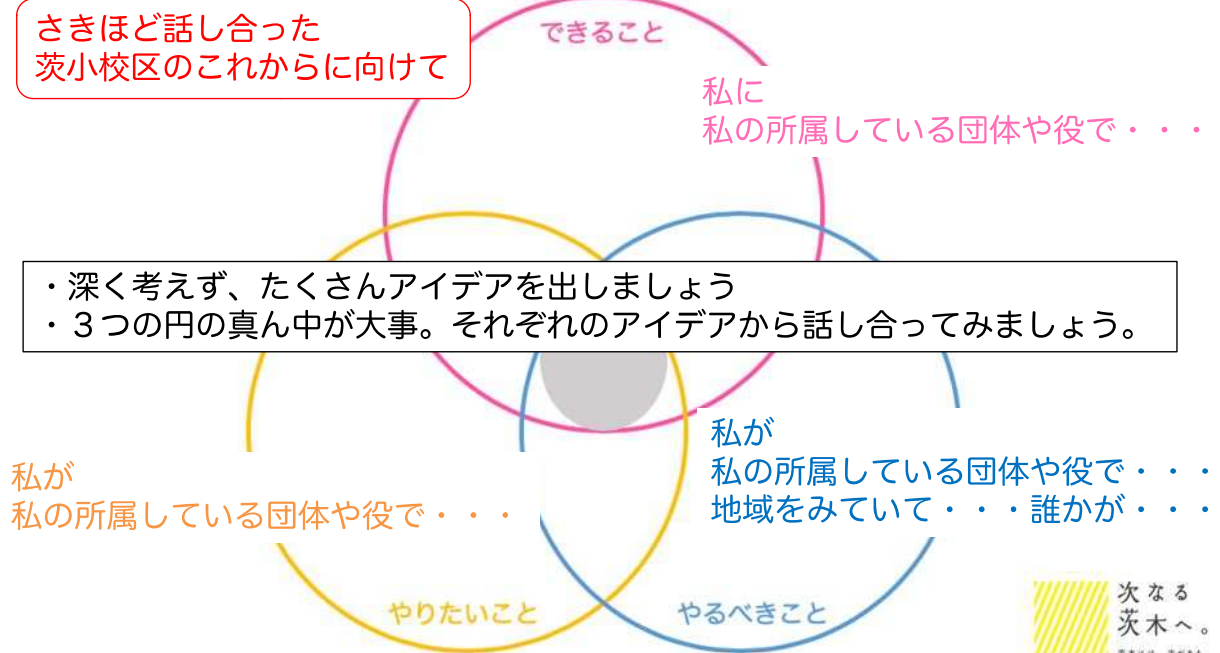
茨小校区のこれからを考え・話し合おう

現在 地域活動をしている中で・暮らしている中で ① 茨小校区の「良さやよかったこと」	将来 地域活動をしている中で・暮らしている中で ④ 茨小校区が「こうなれば良い・こんなふうにしたい」
現在 地域活動をしている中で・暮らしている中で ② 茨小校区のまちの「困ったこと・課題」	将来 地域活動をしている中で・暮らしている中で ③ 茨小校区が「こうなれば困る・こうなってほしくない」

次なる
茨木へ。

これからに向けてみんなで一緒に取り組んでいく活動アイデア出し

さきほど話し合った
茨小校区のこれからに向けて



- ・深く考えず、たくさんアイデアを出しましょう
- ・3つの円の真ん中が大事。それぞれのアイデアから話し合ってみましょう。

次なる
茨木へ。

みんなで地域づくりをやっていくための 話し合い・対話の場の工夫

前回ご紹介したものにプラスα、今日は・・・

①アイスブレイク（場を和ませる・柔らかくする）を兼ねた グループ分け・自己紹介

- ・ 知っている仲でも自己紹介（前回に続き）
- ・ さらにその人のことを知るきっかけにする自己紹介の工夫
- ・ グループごとにテーマを決めない場合のぐちゃませになるグループ分けの工夫

②その場にあるもので工夫

- ・ A4とA3白紙やペンがあれば十分
- ・ 意見は書いて、見える化するとわかりやすい・整理しやすい・共通認識を持つことができる。
 - ホワイトボード・黒板・模造紙があるといい。
 - 書く人を決める（毎回交代でもいい）

次回（第3回）予定

今日話し合った、これからの茨小校区と
活動・取組アイデアをもとに、
これから取り組みたいことを
整理、確認しよう

2019年11月 日（ ）
時 ～ 時

参 考

2019年度実施 「茨木市地域コミュニティ活性化に関する アンケート結果（速報）」

調査概要

- ・ 調査対象：茨木市内の自治会長、地域協議会役員・コミュニティセンター役員
- ・ 調査票送付数：875人
- ・ 回答者数：522人 回収率：59.7%
- ・ 調査時期：2019年8月～9月
- ・ 調査方法：郵送による送付・返送

から一部紹介

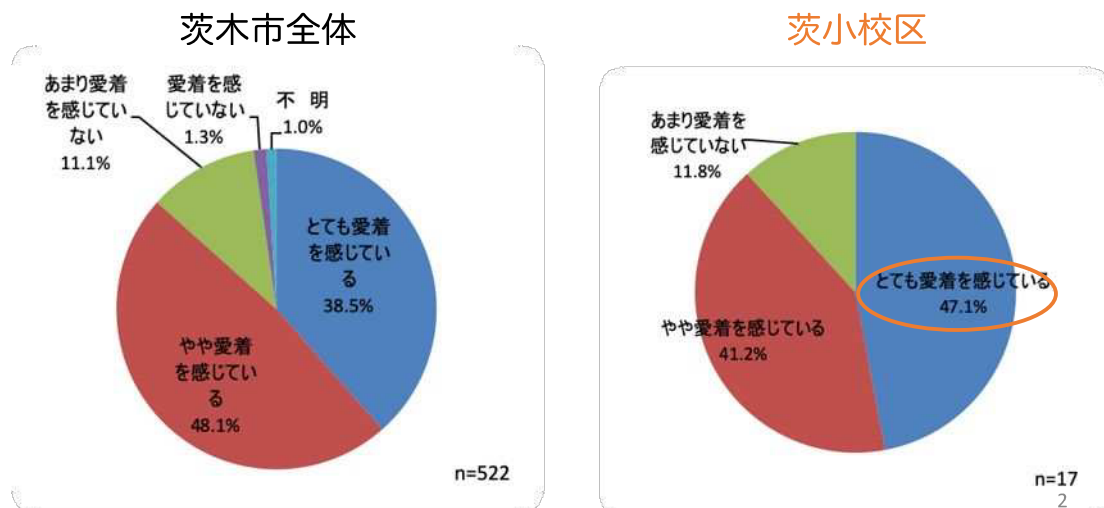


参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて感じる茨小校区の魅力に関連して・・・

問8 あなたの住む、または、活動する地域に愛着を感じていますか。

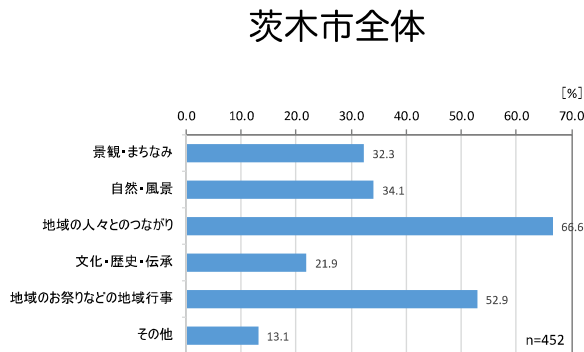


参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて感じる茨小校区の魅力に関連して・・・

問9 自分が住む、または、活動する地域のどのようなところに愛着を感じますか。



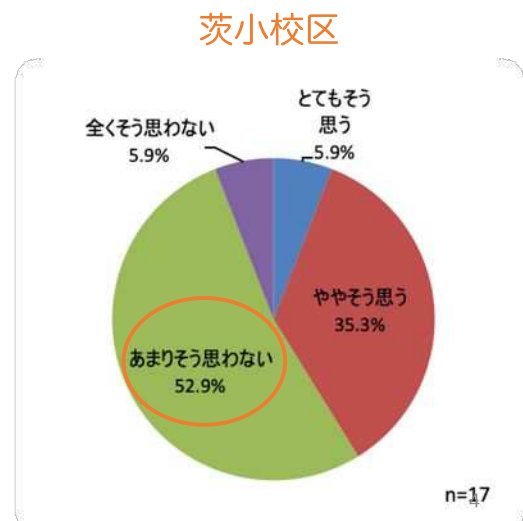
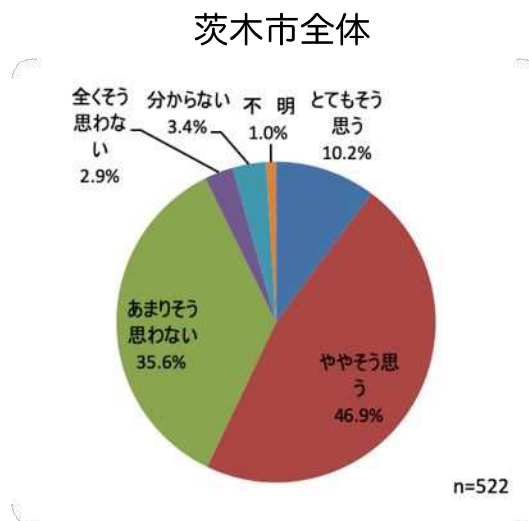
次なる
茨木へ。
茨木には、茨がある。

参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて良かったと思うこと・できごとに関連して・・・

問5 あなたは、地域住民の交流・連携が進んでいると思いますか。



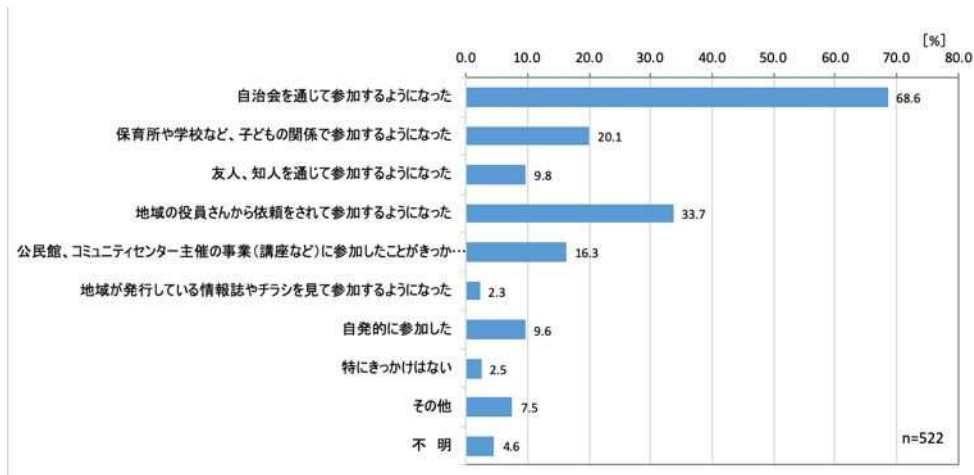
参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて感じる課題・活動の悩みに関連して・・・

問15-2 地域コミュニティ活動に参加するようになった「きっかけ」

茨木市全体



5

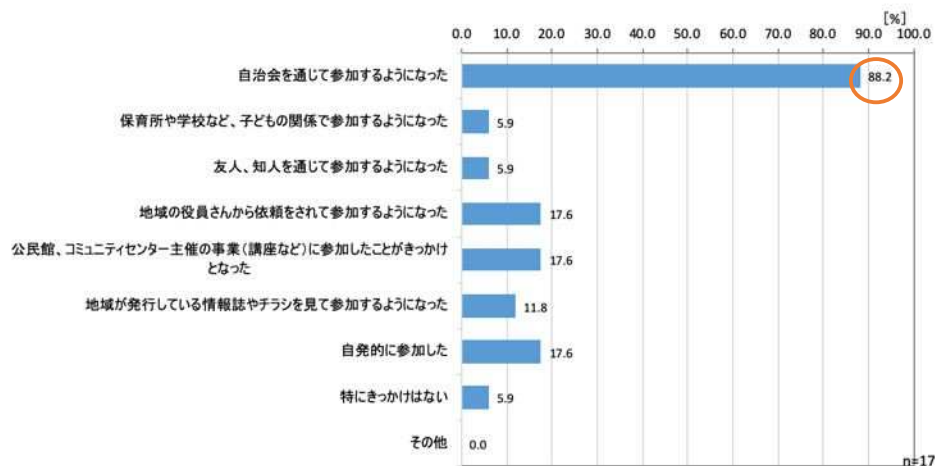
参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて感じる課題・活動の悩みに関連して・・・

問15-2 地域コミュニティ活動に参加するようになった「きっかけ」

茨小校区



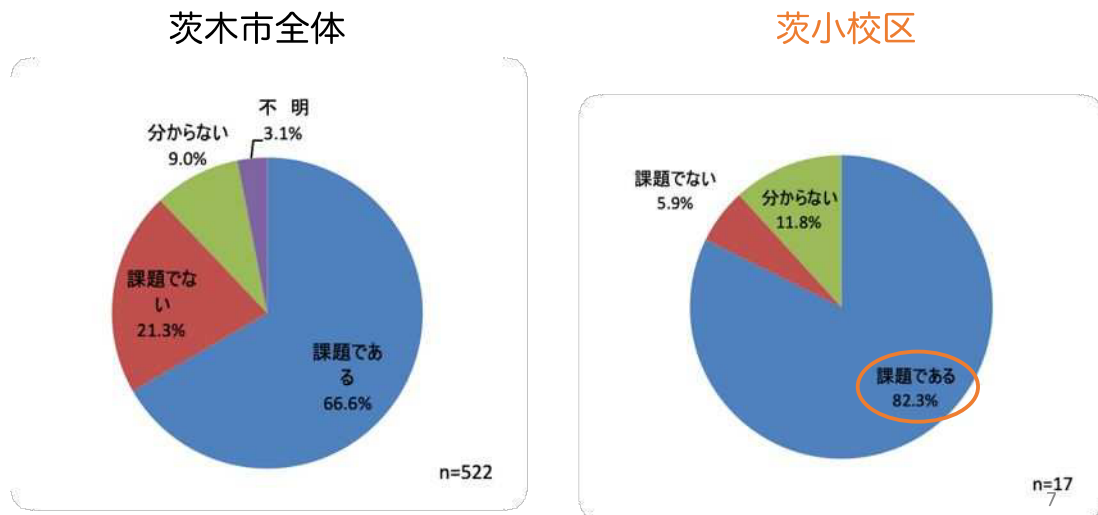
6

参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて感じる課題・活動の悩みに関連して・・・

問19 取り組んでいる課題 ②高齢化により、地域活動に参加できる人が減少している

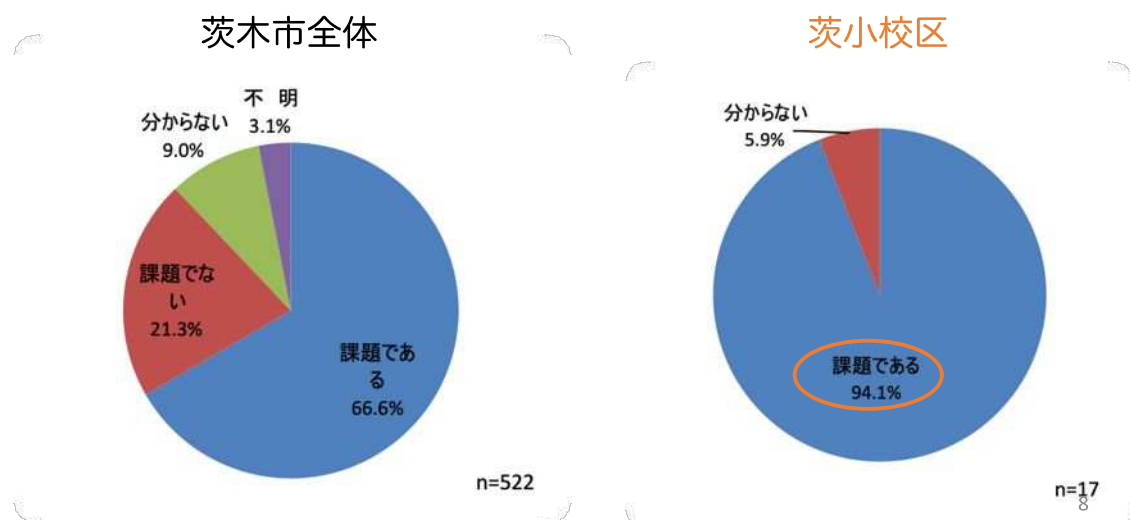


参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動していて感じる課題・活動の悩みに関連して・・・

問19 ③役員の負担が大きく、担い手がない



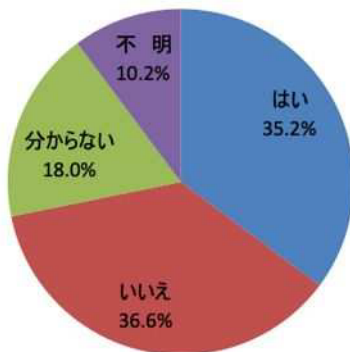
参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

活動している感じる課題・活動の悩みに関連して・・・

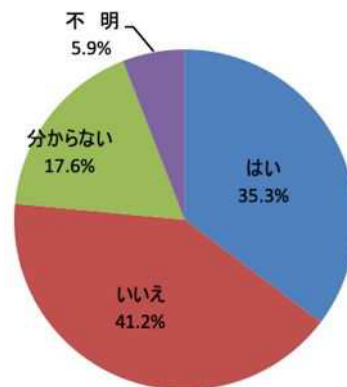
問20 所属している地域組織の活動において、様々な年代の地域住民の方々が参加していただけるような工夫をされていますか。

茨木市全体



n=522

茨小校区



n=17

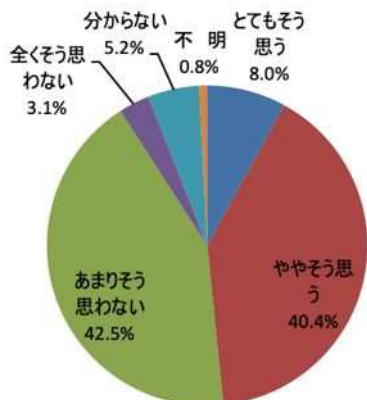
参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・助けて欲しいことに関連して・・・

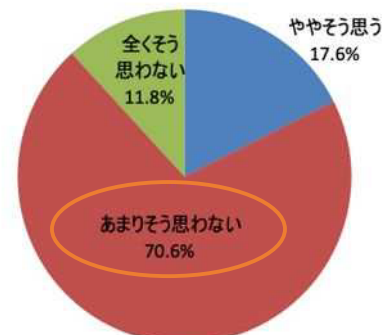
問6 あなたは、各地域組織の連携が進み、地域コミュニティが活性化していると思いますか。

茨木市全体



n=522

茨小校区



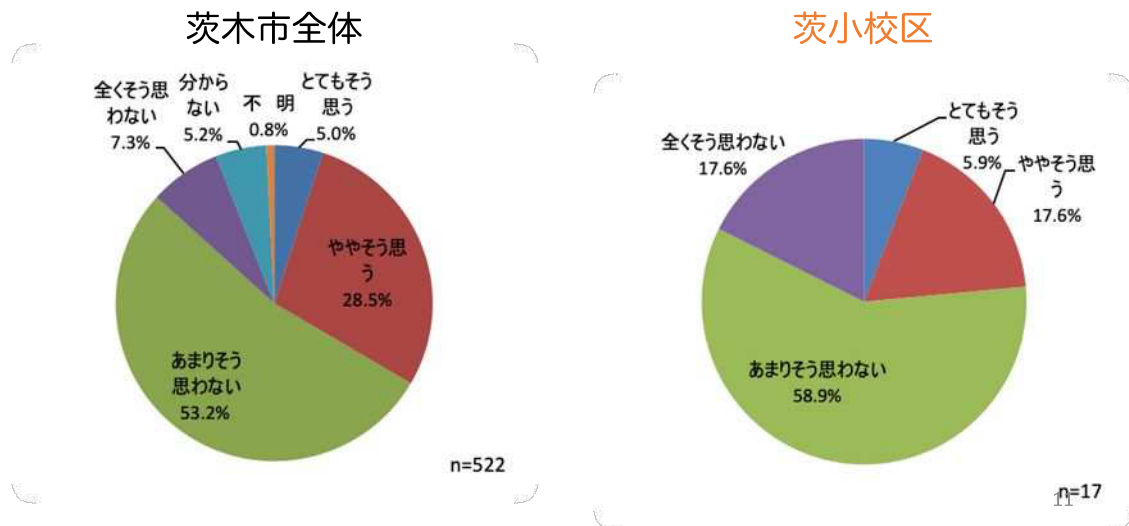
n=17

参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・ 助けて欲しいことに関連して・・・

問7 あなたは、地域住民が自ら地域づくりを進めようとする意識が高まっていると思いますか。

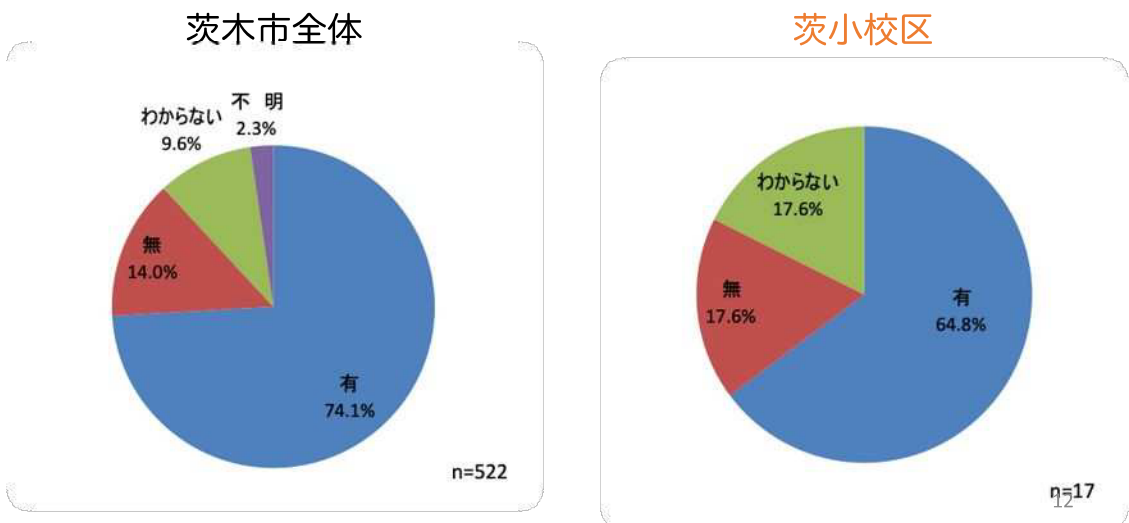


参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・ 助けて欲しいことに関連して・・・

問16-1 所属する組織の活動にあたり、他の団体や組織と連携・協働することはありますか。



参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・ 助けて欲しいことに関連して・・・

問16-2 どのような団体や組織と連携・協働していますか。

茨木市全体



13

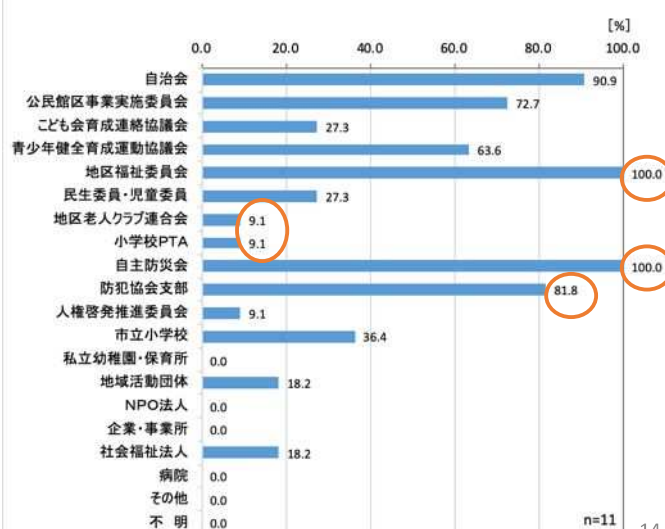
参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・ 助けて欲しいことに関連して・・・

問16-2 どのような団体や組織と連携・協働していますか。

茨小校区



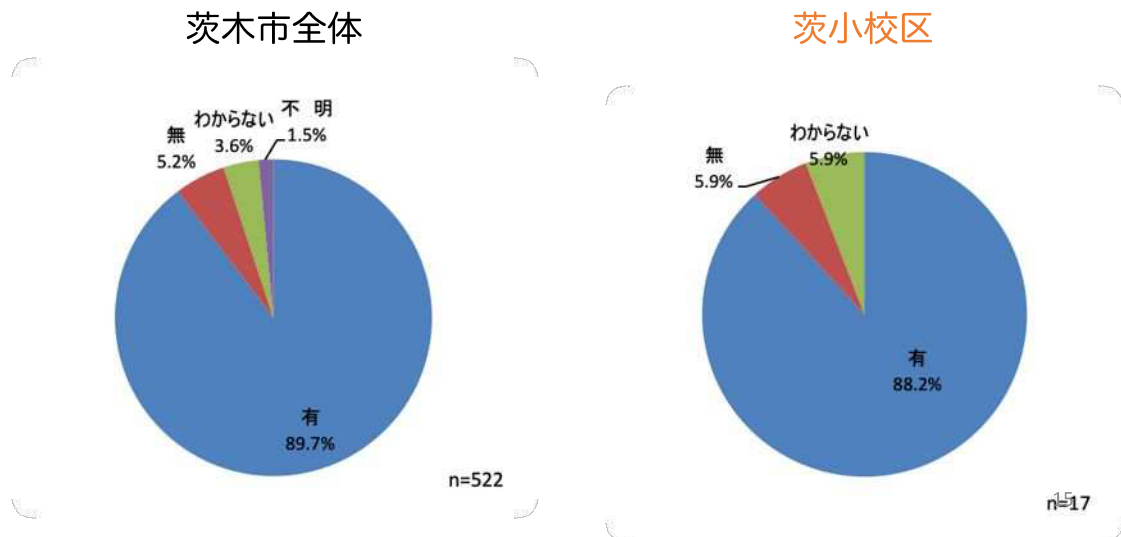
14

参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・ 助けて欲しいことに関連して・・・

問18-1 所属する組織の会員同士が話し合い、情報を共有する場はありますか。

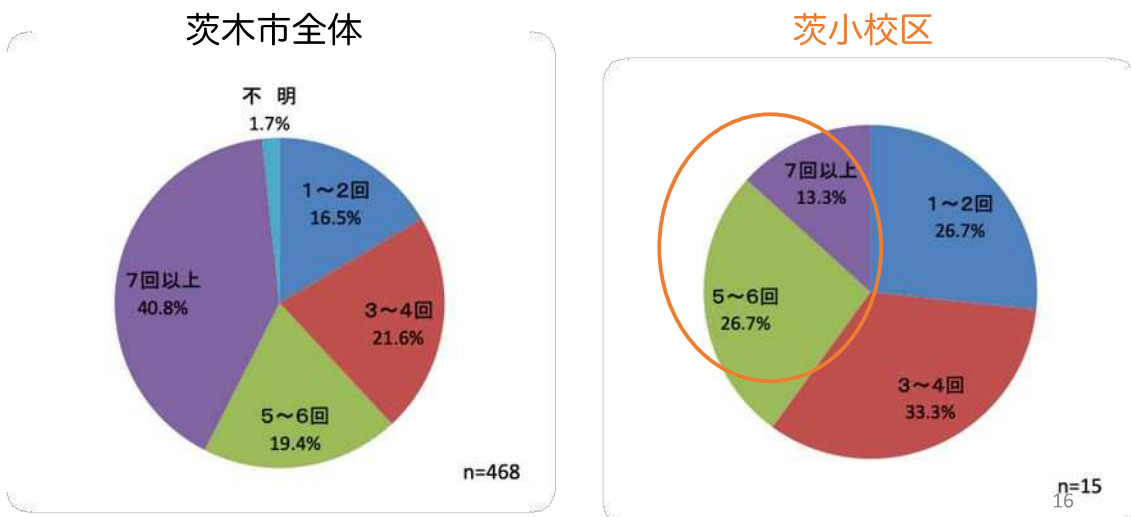


参考（アンケートから）

2019年度実施「茨木市地域コミュニティ活性化に関するアンケート調査B」集計速報から

地域団体や住民と一緒にとりくみたいこと・連携したいこと・ 助けて欲しいことに関連して・・・

問18-3 会員同士が話し合い、情報を共有する場は、年間、どの程度、開催していますか。

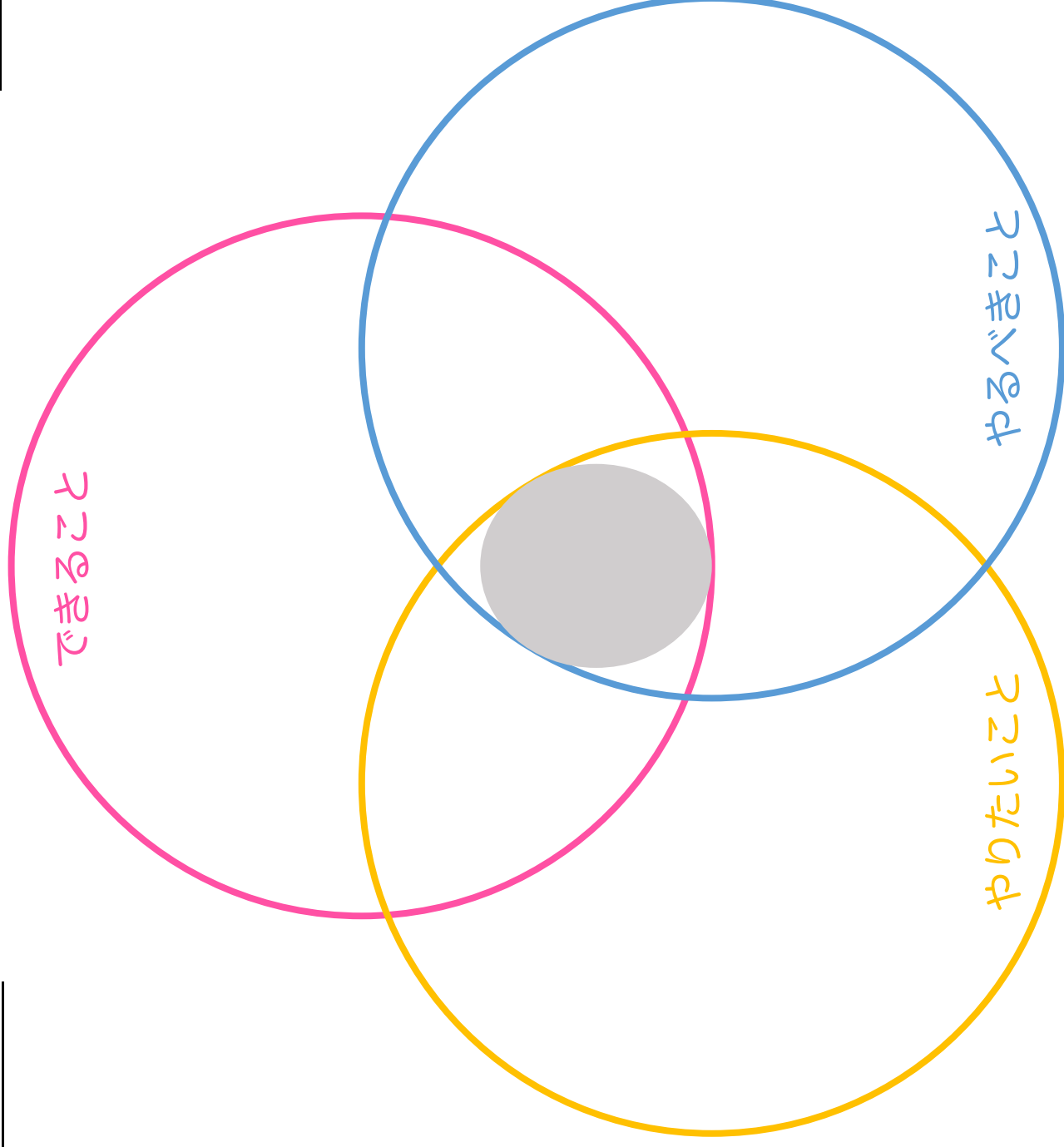


茨小校区：みんなで連携して取り組めることとアイデア出しシート

茨小校区第2回ワークショップ

ご所属： _____

お名前： _____



茨木小学校区のこれからを考えるための「田の字シート」

現在地域活動をしている中で・暮らしている中で ①

茨小校区の「良さやよかったこと」

将来地域活動をしている中で・暮らしている中で ④

茨小校区が「こうなれば良い・こんなふうにしたい」

現在地域活動をしている中で・暮らしている中で ②

茨小校区のまちの「困ったこと・課題」

将来地域活動をしている中で・暮らしている中で ③

茨小校区が「こうなれば困る・こうなってほしくない」

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

これからのより良い茨小校区づくりに向けて

知ろう・話し合おう

第3回

2019年11月27日（水）19:00-21:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

お席のご案内

開会時の
お席は自由
です

途中から4つのテーマに分かれて話し合います。



ワークショップ 全3回の流れ

第1回	お互いのことを知ろう	9/13 (金)
第2回	茨小校区のこれから、やりたいこと・できることを話し合おう	10/23 (水)
第3回	これから取り組みたいことを整理、確認しよう	今回 11/27 (水)



本日の目的

これから取り組みたいことを整理、確認しよう

- 19:00- 趣旨説明・前回の振り返りなど
- 19:05- グループ分け・アイスブレイク
- 19:15- [グループワーク] 活動・取組アイデア具体化
- 19:55- [グループワーク] 活動・取組の整理・優先順位
- 20:35- 全体で共有
- 20:50- これからに向けて
- 21:00- 閉会（アンケートのお願い）



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



詳細は別紙まとめをご覧ください

前回の話し合った内容の確認

茨小校区の将来像

5つのグループから出た意見のまとめ

- ・ 活動に参加してくれる人が増える
- ・ コンセプトがある（文化がある）
- ・ 子どもが元気に暮らせる
- ・ インフラの整備
- ・ 災害に強い
- ・ もっと地域の繋がりが深いまちへ
- ・ 商店街がにぎやかになってほしい
- ・ 地域活動の活性化
- ・ 子どもが暮らしやすい茨小校区へ
- ・ 役員の負担軽減
- ・ 交流の場・機会を増やす
- ・ 活動できる組織にしたい
- ・ 団体・人材のネットワーク
- ・ 自治会の加入促進
- ・ 安全・防災
- ・ 安心・安全なまちに「近づく」
- ・ 子ども～高齢者まで住み良いまち
- ・ 居住と賑わいのエリアのバランスが取れたまち

- ① 子どもも高齢者も元気な茨小校区
- ② 安心・安全な（災害に強い）茨小校区
- ③ 住みやすく、賑わいのある茨小校区
- ④ つながりが深く、地域活動・自治組織が活発な茨小校区



グループに分かれて話し合おう

前回話し合った内容をもとに
整理した4つのテーマに分かれて
取組・活動を話し合い、整理しよう

- 1 班 子どもも高齢者も元気な茨小校区
- 2 班 安心・安全（災害に強い）な茨小校区
- 3 班 住みやすく、賑わいがある茨小校区
- 4 班 つながりが深く、地域活動・自治組織が
活発な茨小校区



グループでアイスブレイク

今回は道具を使ってみましょう！
「カタルタ」で話し合いを
始めよう！

1. まず全員が名札を書いて自己紹介（簡単に）
2. カタルタを使って、ひと周り、話をする
3. 出てきた話をきっかけに、活動内容やアイデアを出し合い、整理しましょう。

カタルタの使い方は前でデモンストレーションします！



これから取り組みたいことを考えるための
整理シート

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

テーマ	第2回で出された 茨小校区のまちの将来像	第2回で出された まちの将来像を実現するためのアイデア
① 子どもも高 齢者も元気 な 茨小校区	- 子どもが元気に暮らせる - 子どもが暮らしやすい茨小校区へ - 子ども～高齢者まで住み良いまち	●子どもたちが中学進学を理由に疎遠にならないように ・小中一貫校は制度的に難しいが、視野に入れてもらいたい ・子どもたちが繋がれる、何か工夫が必要 ●空地・空き家を有効活用したまちづくりが必要 ・高齢者の居場所や若い世代の集いの場として活用してみてもどうか
② 安心・安全 な(災害に 強い) 茨小校区	- インフラの整備 - 災害に強い - 安全・防災 - 安心・安全なまちに「近づく」	●区画整理の見直し ・道路の見通しが悪い箇所など、区画整理のレベルから見直せないか ・避難訓練が年々レベルアップしている。専門家とも連携している。 ・組織同士の協力が大切 ・お互いの顔が見える関係づくりを進める ●防犯活動の継続 ・防犯制度と巡視員制度を統合し、大きくできないか→1つのまちぐるみの組織づくりをする(縦割りはダメ) ●交通安全講習 ・「ながらスマホ」の撲滅に向けた中高生向け解説 ・毎年変わる自治会役員向けに「交通ルールの説明会」「オレオレ詐欺実例の講習会」

これから取り組みたいことを考えるための
整理シート

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

テーマ	第2回で出された 茨小校区のまちの将来像	第2回で出された まちの将来像を実現するためのアイデア
③ 住みやすく、 賑わいがある 茨小校区	- 商店街がにぎやかになってほしい - 居住と賑わいのエリアのバランスが取れたまち	●商店街で今回のようなWSを開催する ・まずは現状認識の共有から始めて、市と商店街とのつながりを徐々に深めていく ・市は広い視点を持ち、個人商店をどう守っていくのか考えていく必要があるのでは ●安全安心な歩行環境をつくる ・駐輪場をつくる必要があるのでは - 人口減少の中でも・・・ ●今の治安を維持する ●子育て環境を維持する ●他地域の人を受け入れる風土の維持する [まちのコンセプトづくり]に向けて ●住みたいまちランキング上位を目指す ●SDGsに取り組む

これから取り組みたいことを考えるための 整理シート

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

テーマ	第2回で出された 茨小校区のまちの将来像	第2回で出された まちの将来像を実現するためのアイデア
④ つながりが 深く、地域 活動・自治 組織が活発 な茨小校区	- 活動に参加してくれる人が増える - 自治会の加入促進 - 役員の負担軽減 - もっと地域の繋がりが深いまちへ - 交流の場・機会を増やす - 団体・人材のネットワーク - 地域活動に参加しやすい校区へ - 地域活動の活性化 - 活動できる組織にしたい	- 自治会になかば強制的に入会してもらう - 自治会の良さは入ってから徐々に感じてもらう - 地震などピンチを上手にを使って、自治会の意義や良さをアピールする - ワンルームをたてたオーナーが責任をもって自治会加入をすすめる - 会長を輪番制にすることで、参加意識を高める。⇒組の中での支援や、前会長も役員として残るなど、会長を支える体制ができています。 ●もっと気軽に町の役につける仕組みへ - 自治会の規約や役割など、一度整理してみると良い。その整理を自治会の垣根を飛び越えて交流しながら見出してみる - 自治会の組織体を小さくしたり、統合したりしてみる ●自治会の役員参加のメリットを作る - 人は何かインセンティブがないと動かない。税金の免除や補助などのインセンティブが必要 - 気安く一緒に参加できる活動を増やすことが必要（風揚げなど） ●地域活動の見える化 - 各種団体の年間活動を共通の「通信」などで発信 - 情報整理をすることを通じて、団体間の交流も進むことが期待できる ●まずは共有からはじめる - 一緒に活動するとしても流儀が違う。まずは情報共有からはじめる。 - 災害の時は共有できる。 ●地域活動に参加しやすい - 楽しみながら一人一役できるような仕組み - PTA経験者は頼めば動いてくれる人。子どもが中学を卒業すると切れるので、高校・大学の間のつながりを考える - PTAのOBが集まれる場をつくろう - 新たに活動に参加する方に自由に取り組めるようにする。新しい発想を止めない。

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[茨小校区]

みんなで取り組んでいく活動 アイデアの具体化（参考）

各グループのテーマの茨小校区
実現に向けて

できること

私に
私の所属している団体や役で・・・

3つの円の真ん中が大事。それぞれのアイデアから話し合ってみましょう。

私が
私の所属している団体や役で・・・

私が
私の所属している団体や役で・・・
地域をみていて・・・誰かが・・・

やりたいこと

やるべきこと

次なる
茨木へ。
茨木には、茨がある。

活動を整理 優先順位を考えてみよう

各グループで出し合った活動・取組アイデアのうち

- ・ 比較的すぐに実現できそうなもの
- ・ 緊急度が高く、すぐに取り組んだほうがいいもの

について、
グループごとに優先順位を考えて、模造紙に整理
して書き出してみましょう。



グループでの話し合いは 20時35分まで

- ・ 話し合った内容
- ・ 3回のワークショップに参加しての感想

を発表してください。

1 班 3 分以内
(時間厳守をお願いします ^ - ^)



みんなで地域づくりをやっていくための 話し合い・対話の場の工夫

前回ご紹介したものにプラスα、今日は・・・

①アイスブレイク（場を和ませる・柔らかくする）の工夫

- ・ 自己紹介は簡単でも毎回（その日の気分など、日によって参加する姿勢や気持ちが違う）
- ・ 世の中にはいろいろな道具があるので、ネットで調べてやってみる、使ってみるとよい。（新しいこと・楽しめる要素があると会議も盛り上がる）

②話し合い・意見を整理し共有するために

- ・ 話し合い、整理したいことを、予め下書きとして表や項目を出して配布すると、話したいことに集中して話し合いやすい。
- ・ 書いた内容はそのまま報告としても使える（記録づくりも地域活動では大変・・・）

これからに向けて

3回のWSを通して話し合った

- ・ 茨小校区の課題や将来像
- ・ そのためにみんなで取り組んでいきたいこと
（まとめは後日作成して、お渡しします）

そのために必要な担い手や組織についても考え、
決めていく必要があります（よね？）

引き続き話し合っていくためには
どうしていきましょうか？

ワークショップ参加アンケート

最後に・・・

3回のワークショップに参加しての
ご感想やご意見をお伺いする
アンケートにご協力お願いします。

